

## ✦... ごみかんよりお知らせ ...✦✦✦✦✦✦✦✦✦✦

毎年のごみと、年度末のごみと・SUNの編集の頃は、どうしても3・11 当時がフラッシュバックしてしまい、その後の福島を思って、ざわざわとした気分になります。そんなこの時期に、ぜひおすすめしたい映画、そして若い二人の講演者に大注目の講演会をご紹介します。(E)



### 映画 津島—福島は語る・第2章—

福島第一原発事故により高濃度の放射能に汚染された浪江町津島地区では、住民の半数の700名が「ふるさとを返せ！津島原発訴訟団」を結成し提訴して闘っています。

上映初日のトークで土井俊邦監督は、「この映画は、決して人口約1400人の津島を記録するためだけのドキュメンタリーではない。もっと普遍的なテーマを提示する映画でもある」と。そして「水俣や沖縄も然り、多数派の幸福、安全、快適さのために少数派を犠牲にする在り方への、津島住民の異議申し立てであり抵抗だともいえる」。「原告意見陳述集」の一人一人を訪ねて、映像で記録した、3時間にも及ぶ圧巻の証言ドキュメンタリーです。

### 講演会 第33回 市民環境問題講演会 これからのごみ問題

日時：2024年4月7日(日) 13:00～15:00 (開場 12:30)  
会場：羽村市生涯学習センター プリモールゆとろぎ 小ホール  
(青梅線羽村駅下車徒歩7分)

第1部 基調講演：中里唯馬さん(ファッションデザイナー)  
第2部 次世代対談：中里唯馬さん、中西考さん(弁護士)

資料代：500円 主催：たまあじさいの会  
連絡先：090-3332-6618 (古澤)

ごみかん発足のきっかけとなった、東京多摩地域のごみの最終処分問題。当時、処分場予定地の日の出の森では、様々なイベントが開催され、大人に連れられて子どもたちが遊びにきていました。

その小学生たちが、いまや第一線で活躍する大人となり、4月には、講演と対談が企画されています。親の背中を見て育った中里唯馬さんと中西考さん、素晴らしいですね。30代のお二人の感性でごみ問題が語られます。ぜひ、足をお運びください。

\*中西考さんとお二人の話は、ごみと vol.40 に掲載しています。



### 映画 燃えるドレスを紡いで



大量廃棄され環境汚染を引き起こしている衣服のごみ問題。ファッションデザイナーの中里唯馬さんが「生み出された衣服はどこに行くのか」という疑問の答えを求めて、“衣服の最終到達点”といわれるアフリカ・ケニアへ。そしてカメラはパリ、日本へ、ファッションショーの裏側も捉えます。

クリエイターとしての葛藤や新しい事への挑戦、チーム一丸となってショーの成功を目指す姿を映し出すドキュメンタリー映画。

『生きてるだけで、愛』『太陽の蓋』の関根光才監督最新作です。

3月16日よりk'sシネマなどで全国順次公開中。

#### 中里唯馬さん プロフィール

1985年生まれ。小学生の頃、父の美術家・中里繪魯洲に連れられ二ツ塚処分場予定地にあったトラスト地をたびたび訪れる。

2008年ベルギー・アントワープ王立アカデミーを卒業。

2009年「YUIMA NAKAZATO」を設立。

2016年からパリ・オートクチュール・コレクションに公式ゲストデザイナーとして参加している。日本人公式参加は森英恵さん以来2人目。

## ごみ・環境ビジョン21



年会費＝個人会員 3,000円 団体会員 6,000円  
賛助会員 10,000円(一口)

郵便振替 口座名：ごみ・環境ビジョン21  
口座番号：00130-1-603521

◆ごみと・SUNのお受け取り方法は

- ①ヤマト運輸のDM便
- ②メール添付でのPDF配信の二つがあります。
- ②をご希望の方はメールにてお申し込みください。

◆振替用紙にはご住所・お名前・お電話番号(FAX)をご記入ください。また、住所変更があった場合はお知らせください。DM便は移転先へ転送されませんので